

## 文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	山梨県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界遺産富士山普及啓発事業		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成 23 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成 24 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成 25 年度文化遺産を活かした地域活性化事業		3,192	千円
平成 26 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 27 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 28 年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成 29 年度文化遺産総合活用推進事業		19,904	千円
平成 30 年度文化遺産総合活用推進事業		9,330	千円
6 計画の実施状況（概要）			
※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
平成25年度			
普及啓発事業として、世界文化遺産である富士山の保全と地域に伝わる伝統行事の保全に関する取組に係る冊子（記念誌）を作成し、関係者に配布した。			
＜記念誌の内容＞			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中西進氏の寄稿（信仰と芸術の側面からの富士山の魅力に係る内容）</li> <li>・富士山の保全に向けた”富士の国づくり”運動について</li> <li>・郷土芸能「北口本宮富士浅間神社太々神楽」の紹介</li> <li>・船津口登山道、御師料理等に関する取組</li> <li>・江古田富士（富士塚）に関する伝統行事等の取組</li> </ul>			
※平成26年2月23日にシンポジウム、講演会等として実施を予定していたが、同年2月14日からの観測史上最大の降雪のためシンポジウム等は中止とし、各出演者からの寄稿により記念誌として取りまとめ、保全に係る普及啓発を図ったもの。			
-----			
平成29年度			
世界遺産富士山ガイドブック英語版を制作し、国外からの訪問者を対象に、富士山世界遺産センターをはじめ市町村関連施設において配付した。			
世界遺産富士山構成資産VR映像を制作し、富士山世界遺産センターに導入した。併せて市町村等への貸し出しを行った。			
世界遺産富士山構成資産登山道体感タイムラプス映像を制作し、富士山世界遺産センターに導入して活用した。			
Rebirth! 富士講プロジェクト事業ガイドマップ英語版を制作し、国外からの訪問者を対象に、富士山の巡礼路を活用した世界遺産の価値の普及と周遊促進を行った。			
-----			
平成30年度			
世界遺産富士山ガイダンス映像を作成し、今後、市町村等へ配付して活用を図る。			

## 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況

※平成30年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。  
(指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載)。

別紙①②のとおり

## 8 事業実施による効果等

※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況(人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果)を具体的に記載してください。

平成25年度事業で、世界文化遺産である富士山の保全と地域に伝わる伝統行事の保全に関する取組に係る冊子(記念誌)を作成し、関係者に配布して保全の大切さを啓発して以降も、富士山の日記念式典において同様の啓発を継続実施しており、毎年300～500人の参加者に対する啓発を行っている。

平成29年度事業で制作したガイドブック英語版及びガイドマップ英語版を国外からの来訪者に配付し活用されている。構成資産映像及び登山道映像については、世界遺産センターでの活用及び市町村への貸し出しを行っている。

平成30年度事業で作成したガイダンス映像を市町村等に配付し、活用を図る。

## 9 得られた効果の検証・分析

平成25年度事業で作成した冊子を通じて富士山の保全と地域に伝わる伝統行事の保全に関する啓発が図られ、現在も富士山の日記念式典において同様の啓発を継続実施している。

平成29年度事業で制作したガイドブック英語版、ガイドマップ英語版、構成資産映像及び登山道映像にの活用を通じて、世界遺産富士山の価値の理解が促進された。

## 10 総括評価結果

※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。

## 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	富士山世界遺産センターの月平均入館者数	関連事業 :	②、③
目標値 1 :	平成 28 年度 27,600 (単位) ⇒ 平成 30 年度 28,100 (単位)		
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率 (30年度は12月末現在)		
平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
(単位)	(単位)	26,687 (単位)	35,771 (単位)
		95%	127%
			147%
具体的な指標 2 :	富士山世界遺産センターの外国人月平均入館者数	関連事業 :	①、④
目標値 2 :	平成 28 年度 11,500 (単位) ⇒ 平成 30 年度 11,700 (単位)		
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率 (30年度は12月末現在)		
平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
(単位)	(単位)	11,270 (単位)	11,309 (単位)
		96%	97%
			96%
具体的な指標 3 :	富士山世界遺産センターの教育プログラム参加者を対象に、映像の趣旨を理解したか聞き取り、理解した人数と割合を集計する。500名に対して聞き取るまで実施する。	関連事業 :	⑤
目標値 3 :	平成 29 年度 0 % ⇒ 平成 31 年度 80 %		
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
%	%	%	%

## 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	世界遺産富士山ガイドブック作成事業	実施団体：	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	世界遺産富士山構成資産の歴史的成り立ちや相互の関係を来訪者に情報提供するため、世界遺産富士山ガイドブック英語版を制作する。なお、H28に自主事業で日本語版を制作済みであり、国内外からの来訪者に対して世界遺産センター等で世界遺産富士山の価値の普及啓発に活用する。					
具体的な指標：	世界遺産富士山ガイドブック（英語版）を使用した外国人のうち世界遺産への理解度が増加した者の割合（アンケート結果）					
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒	平成 30 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	%	%	%	%	71 %	%
					89%	
事業②：	世界遺産富士山構成資産映像作成事業	実施団体：	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	世界遺産富士山構成資産を体感できるVR撮影（25カ所）を行い、富士山世界遺産センターに体感コーナーを設置する。なお、体感機器は既存機器を活用し、市町村等への啓発用貸出を行う。					
具体的な指標：	富士山世界遺産センターにおけるVR映像視聴者のうち世界遺産への関心・理解度が増加した者の割合（アンケート結果）					
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒	平成 30 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	%	%	%	%	100 %	%
					125%	
事業③：	世界遺産富士山登山道映像作成事業	実施団体：	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	世界遺産富士山構成資産の登山道を体感できるタイムラプス撮影（静岡県側2ルート）を行い、富士山世界遺産センターの登山道体感コーナーを拡充し、構成資産全4登山道を体感可能にする。なお、世界遺産センター体感機器、市町村等への啓発用貸出機器は既存機器を活用する。					
具体的な指標：	富士山世界遺産センターにおけるタイムラプス映像視聴者のうち世界遺産への関心・理解度が増加した者の割合（アンケート結果）					
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒	平成 30 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	%	%	%	%	85 %	%
					106%	

事業④：	世界遺産富士山ガイドマップ作成事業	実施団体：	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要：	世界遺産富士山の巡礼路を活用して構成資産等を巡るRebirth!富士講プロジェクト事業のガイドマップ英語版を3種類制作し、国外の訪問者の世界遺産富士山への理解と周遊促進を行う。					
具体的な指標：	ガイドマップ（英語版）を使用した外国人のうち世界遺産への理解度が増加した者の割合（アンケート結果）					
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒	平成 30 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	%	%	%	%	83 %	%
					104%	
事業⑤：	世界遺産富士山ガイダンス映像作成事業	実施団体：	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 27 年度 ~ 平成 30 年度			
事業概要：	世界文化遺産富士山の顕著な普遍的価値を子どもから大人まで分かりやすく解説するガイダンス映像を作成する。映像コンテンツは、「信仰の対象」及び「芸術の源泉」について解説する内容とする。					
具体的な指標：	富士山世界遺産センターの教育プログラムにおいて映像の趣旨を理解した者をセンター職員が聞き取りにより集計し、理解度を測定する。対象者が500名に達するまで実施する。					
目標値：	平成 29 年度	0 %	⇒	平成 31 年度	80 %	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成	年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
	%	%	%	%	%	%